

(別添2-10)

通信学習実施計画書

1 講義を通信の方法によって行う地域

・大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都府、滋賀県の全地域とする。

2 添削指導の方法

・自宅学習期間の質問方法

質問は、メール・FAXによるものとする。

添削担当講師：専任講師 小関 健太郎、別添カリキュラム参照

ファックス番号 06-6354-7804

メールアドレス senior-mdsv@emerald.bforth.com

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5時間	5時間
(3) 介護の基本	3時間	3時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5時間	7.5時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3時間
(6) 老化の理解	3時間	3時間
(7) 認知症の理解	3時間	3時間
(8) 障がいの理解	1.5時間	1.5時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	12時間	12時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

・添削課題は、2回に分けて配布する。

なお、第1回目は開校式・オリエンテーション日に受講生に添削課題を配布する。第2回目は、研修開始後10日以後の通学時に学習課題を配布する。

第1回、第2回の課題配布後、10日以上経過した通学時に提出日を設ける。

5 通信学習課題

① 課題種類数 1種類

② 出題形式

第1回課題 選択式 47問 ○×式 81問 全128問

第2回課題 選択式 30問 ○×式 10問 全40問

③ 出題数(大問)

「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」 18問

「(3) 介護の基本」	16問
「(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携」	32問
「(5) 介護におけるコミュニケーション技術」	16問
「(6) 老化の理解」	16問
「(7) 認知症の理解」	16問
「(8) 障がいの理解」	14問
「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」	40問

6 評価基準

各科目の問題の60点以上を合格とする。

60点に満たない場合は、再評価を実施するため、別途添削課題を配布する。

なお、再課題は同じ課題を使用する。

再提出は、配布後14日以内とする。

7 通信添削業務受託事業者

自社で実施する。

オンライン授業または、DVD・動画配信 講義内容

- 1、 オンライン授業または、DVD・動画を聴講しレポート課題を実施する。
なお、質疑応答は、メール（senior-mdsv@emerald.bforth.com）または電話（06-6354-7801）FAX（06-6354-7804）にておこなう。
レポート課題は以下の通りです。
採点方法：100点満点60点以上で合格

「(1)職務の理解」

- ②介護職の仕事内容や働く現場の理解

「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」

- ① 人権と尊厳を支える介護
- ② 自立に向けた介護

「(3) 介護の基本」

- ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携
- ② 介護職の職業倫理
- ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント
- ④ 介護職の安全

「(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携」

- ③ 障がい者総合支援制度およびその他の制度

「(7) 認知症の理解」

- ① 認知症を取り巻く状況
- ② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理
- ③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常
- ④ 家族への支援

「(8) 障がいの理解」

- ① 障がいの基礎的理解
- ② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識
- ③ 家族の心理、かかわりの支援の理解

「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」

- ① 介護の基本的な考え方
- ② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解
- ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解
- ④ 生活と家事
- ⑤ 快適な居住環境整備と介護